

2015B 期における SPring-8/SACLA ユーザー要望等について

登録施設利用促進機関
公益財団法人高輝度光科学研究センター
利用推進部

SPring-8及び SACLA では、各ビームタイム終了後に実験グループごとに「ビームタイム利用報告書」を提出していただいております。この報告書には、その実験の概要、次回の利用者へのアドバイスや施設に対する要望、提案等を記入していただいております。

2015B 期における要望等の状況は下記のとおりです。これら要望等と、それに対する施設側の回答（内容により、必ずしも全てではありません）につきまちは、User Information で公開されています。

1. 2015B 期 要望等全体概要

2015B 期	実施 課題数	利用実験数 (報告書数)	うち、要望等コメントがある*報告書数		
			技術的要望等	食堂他要望等	その他（お礼）
SPring-8 共用 BL	726	1,041	132	21	89
SACLA 共用 BL	35	36	15		

*「なし」「None」等のコメントを除く。

2. 2015B 期 要望等の内容（一部抜粋）

(1) 技術的要望等

- 高温測定のスเปクトル解析がブラックボックスなので、各スเปクトルをユーザーが簡単に解析できるようにしていただければと思う。
- QXAFS 測定における計測時間を変化させると、エッジポジションが少しずれていたため、注意が必要。ステップスキャンモードでは、計数時間を変えても、エッジポジションのずれはなかった。
- 7.0 keV 以下のエネルギー範囲では、入射 X 線のエネルギーが低下すると強度が大幅に変化するため、エネルギー変更を細かく実施する必要がある。
- 試料室が40 ミクロン以下で、特に軽元素からなる試料から良質な回折パターンを得るためにはマイクロビームが必要である。冷凍機中の試料に対してマイクロビームが照射できるようになるとうれしい。また冷凍機中の試料を光学観察するのが非常に難しい。今回の場合は金属化した硫化水素の光学観察ができれば良かったのだが、ほとんど見えなかった。非常に難しいとは思いますが、この点も改善していただけるとありがたい。

(2) 食堂その他要望等

- 宿舎の風呂場の風通しが良すぎたため、寒く感じるが多かったです。
宿舎の空調を調整していただければ幸いです。
ATM を設置していただけると助かります。
施設内の売店の深夜営業があると助かります。
- 食堂、コンビニの利用時間を長めにしていただけるとありがたいです。
また、ビームライン近傍の携帯の電波が不安定であり、少し改善できたら嬉しいです。
- 北管理棟でのチェックインでは、公共交通機関（バス）を利用した場合、北管理棟からリングまで屋外を長い距離を荷物を持って歩くことになり大変である。特に、雨の場合は、傘をさしての移動とな

る。バス利用の場合は事前申請等により、以前のように中央管理棟でのチェックインを可能として欲しい。

(3) 特記事項

SPring-8実験ホール内の放送が聞きづらいとのご要望がこれまでに多く寄せられていましたが、施設側で状況の調査・対策検討を経て、平成28年3月に実験ホール廊下側壁面への増設工事を行いました。これにより、ハッチの裏側でも放送が聞き取りやすくなりました。

3. 要望等及び施設側回答の公開場所

SPring-8/SACLA User Information より検索・閲覧ができます。

The screenshot shows the SPring-8 User Information website. On the left, a navigation menu includes 'SPring-8 利用案内' and '検索/特許報告', with 'ビームタイム利用報告書検索' circled in red. The main content area features a search bar, a notice about bicycle use, and a list of announcements. A search result for 'ビームタイム利用報告書検索' is highlighted, leading to a detailed table of beamline usage reports.

期	ビームライン	次期利用者に対するアドバイスや無効に対する要望、観測等	SPring-8/SACLAからの回答
2015A	BL-39XU	請求書をお客様用で印刷出来たことを希望します。高価な消耗品やソフト利用料をホームで支払うことは非常に困難です。また、便宜上のビームタイム分による請求書分割方式も、何人もの共同実験者がいる場合は利用申込書や利用報告書など全てが増し減しで、ユーザー側だけでなく管理者側の負担も増してしまつてお察しします。ご検討よろしくお願ひ致します。	ご回答ありがとうございます。今後、システムの変更を含め検討いたします。
2015A	BL02B1	初めての利用でしたがソフトが充実しておりスムーズに実験を進めることができました。自分が実験するビームラインにはどの入り口が近いのかなどの情報が得られればと思います。	SPring-8のホームページに「実験リンク先の各施設別案内」におきまして、BLと各線の図がございまして、ご活用ください。http://www.spring8.or.jp/ja/users/experimental/
2015A	BL14B2	実験ホールのアナウンスが聞きづらい。放送設備の改善とわかりやすいアナウンスを期待します。ユーザーの控室にも音が流れればよい。	ご遠慮をお受けして申し訳ありません。昨年夏および今年度初めに放送設備の試験を行いました。基本ホール裏側でテスト放送として参加者向けに放送設備の運用を行ってまいります。SPring-8チームページの「最新ニュース」や「実験室」等でご案内しておりますので、是非ご参加をご検討ください。
2015A	BL40XU	(実験そのものには関係ありませんが) 観測にお誘いされるポットは大変ありがたく、これまででも重宝している。ただし電源の切り忘れで、実験休館になることが多発するので、電源スイッチに電圧がオンになるようポットに入内書を入れていただくのが良いのではないかとお願ひ致します。	ご回答ありがとうございます。ポットにつきましては今後更新をいたします。
2015A	BL19B2	・測定打と一般課題申請の間のハードルを少し下げた「随時」フェーズがあると、利用がより推進されると感じました。・観測での測定が少なかったので、より観測のものを導入し測定をいかにコンピュータ制御ができるとより面白いと思ひました。御中継室(観測室)・サブシステムに人体を近づけつつも、1機体ずつサンプルを同時に測定していることから、キャピラリー測定に比べて半自動可能なシステムが可能なことにより利用しやすくなると思ひました。・データ取得の難易度が低いことから、サブシステムにサンプル数を数が入力でき、不可変とできるとデータ完全性として有用だと感じました。システムに不備で、門外漢な企業が使用しやすくなるために、手続が簡便かつ少く観測が早くより有効活用されることを願ひます。	ご回答ありがとうございます。SPring-8では、定期的に手続等ごとの研修会を開催しております。基本ホール裏側でテスト放送として参加者向けに放送設備の運用を行ってまいります。SPring-8チームページの「最新ニュース」や「実験室」等でご案内しておりますので、是非ご参加をご検討ください。